

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2018

1月号
vol.618

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

「働き方改革」

（企業の人財確保そして定着のために）

21世紀型
自立型
企業づくり

ドイツの靴文化に魅せられて
倉富 英史 氏 [有限会社クラトミ]

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと
AR動画が見られます!
ARアプリ「COCOAR2」のダウンロード方法は
P2をご覧ください

福岡同友会へ Message

筑後信用金庫 理事長

のうつか つとむ
農塚 勉 氏



九州を含め、我が国の経済は回復基調にあると言われる中で、新しい年を迎えました。私は、新しい年を迎えるたびに、今年は何か良い年になるのではないかと期待をしてしまいます。しかし、冷静に今年を展望しますと、マイナス金利政策等も継続されており、金融機関の収益環境の厳しさは変わりません。今年もまた重要な課題を抱えながら、しっかりと金庫経営に取り組んでいく一年になりそうです。

金融機関に限らず、中小企業の皆さんもそれぞれの課題と向き合いながら、懸命に経営に取り組んでおられることと思います。特に、人口減少や高齢化により労働人口が減少していく中、大企業は採用人員を増やしており、中小企業は求人募集をしてもなかなか応募が少なく、『労働力不足・人材不足』に悩んでおられる経営者は多いのではないのでしょうか。

当金庫は、昨年2つの地元の大学と連携協定を結び、地域活性化に向けた活動を進めているところですが、学生に就職希望先を聞くと、『地元へ帰って、地元の企業で働きたいし、親もそれを願っている。しかし、地元でどんな魅力ある企業があるのかわからない。だから、どうしても、知名度のある大手企業に目が行く』という答えも少なくありません。こういった現状に対し、私たち信用金庫は、中小企業家同友会の皆さんをはじめ、中小企業の皆さんと大学やその学生との仲介機能が発揮できないかと考えています。

信用金庫が、金融面だけでなく、いろいろな角度から中小企業家同友会の皆さんと課題解決に向けて一緒になって取り組むことができれば、お互いに今年もよい年になるのではないのでしょうか。今年もよろしく願いいたします。

福岡信用金庫 理事長

くどう けんじ
工藤 賢二 氏



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年の九州北部豪雨により被災された皆様、いつもとは違うお正月をお迎えのことと存じます。どうか一日も早く、落ち着いた生活を取り戻されますよう心よりお祈りいたします。

さて、2017年の経済情勢を振り返って見ますと、我が国経済は、アベノミクスの推進等によりマクロでは緩やかな回復を続けているものの、地方では、その成長力は力強さを欠いております。特に地域経済の担い手である中小企業の方々の多くは、慢性的な人手不足や事業承継問題等、様々な経営課題を抱え、厳しい経営を余儀なくされておられます。

こうした中、私ども信用金庫も、中小企業専門の協同組織金融機関として、常に地域の中小企業等を支え、その活性化や経営改善、再生等に取り組む、円滑な金融仲介機能の役割を果たしていかなければなりません。

そのような中で、貴会とは2016年10月に、県内8信用金庫が組織する福岡県信用金庫協会と「中小企業支援等に関する覚書」を締結しました。私ども福岡信用金庫も、貴会のご協力を仰ぎながら、県内中小企業の皆様方の益々の発展と地域活性化に全力を尽くして参ります。

末尾ながら、貴会と会員の皆様方の益々のご健勝とご繁栄を祈念申し上げます。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

よい経営者になろう

よい経営環境をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

月刊同友会1月号 自立型企業づくり
はみだしレポート

倉富さんとは、二泊三日の経営指針作成セミナーにて共に学んだ第11期の同期（宝士会）です。

一度見たら忘れないような独特な印象をお持ちの方で、経営を学ぶことや自社をよくすることに對して、非常に真摯に行動していく方です。

経営指針書も経営指針作成セミナーで作成してすぐ、指針書作成でお世話になった講師の諸先輩方や宝士会同期メンバー、また銀行取引先に社員を交えて、発表を行いました。

また、いままでの社員の労をねぎらって賞を贈るなど、経営指針作成セミナーで学ばれたことを経営に落とし込んで実行しています。同友会はもとより社員や取引先との関係をしっかりと築き、小倉や阪急博多店にも店舗進出するなど、発展を遂げていっています。



Blue Rise
代表者
早田 麻理子
(福友支部)

現在、同友会では二泊三日の経営指針作成セミナーでスタッフ、支部内でも役を担われており、今後の倉富さんのますますの活躍に目が離せません。同友会で学び、互いにより刺激を与えあう素敵な仲間として、今後も共に高めあっていきたいと思っています。



有限会社クラトミ
代表取締役
倉富 英史 氏
(福友支部)

本誌p7掲載

【今月の表紙】 富谷 正弘 (株)ココスイメージ (玄海支部)



毎年1月3日に行われる宮崎宮(福岡市東区)の玉取祭は、別名「玉せせり」といわれています。全国に知られる祭りで、今から500年前の室町時代に始まったとされている宮崎宮の神事です。300人の競り子は玉の争奪戦をくり広げながら楼門に待つ神職の手に玉を納め、陰陽の玉が揃って神前に納めれば神事は終了です。陸組と浜組に別れた玉の争奪戦は、陸組が玉を納めれば豊作、浜組が納めれば豊漁といわれています。

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと
AR動画が見られます!

STEP 1 ARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロード(無料)

App Store
Google Play Store

COCOAR2 検索

STEP 2 SCAN!!

「COCOAR2」を起動し、表紙をスキャンし、読み込んでみましょう。認識すると自動でコンテンツが流れます。

働き方改革

企業の人財確保そして定着のために

経営者の本気度

拓新産業株式会社 代表取締役

藤河 次宏 氏（南支部）

文章／菅原 弘（東支部）
写真／富谷正弘（玄海支部）

Interview 01

学生がブースに来てくれない

福岡市早良区、三瀬峠に近いのどかな田園風景に囲まれた地に拓新産業（株）があります。建設機材のレンタル業を営み5カ所のセンターを持っています。

社長の藤河次宏さんは、勤務していた建機商社を退職後、昭和51（1976）年に同社を創業しました。当初は建機の販売でしたが、レンタルへ業態をシフトさせていきました。

昭和63（1988）年、同友会に入会し、共同求人委員会に参加しました。当

時はバブル期で、求人難に直面しており、同委員会が主催する『合同企業説明会』に参加しました。

「参加企業は40社くらいだったと思います。就職希望の学生が自社のブースに全く来てくれませんでした。これは大きなショックでしたね」

そこで他社のパンフレットを見て勉強し、同友会の仲間たちに相談していきましました。やがて共同求人委員長を仰せつかりました。「実績がないのにいいのか」と思いましたが、ここはチャンスととらえて、大学の就職課の担当者や学生さんと話をする機会を得ました。学生にとって魅力ある企業になるために自社を見つめ直しました。その答えは経営理念の作成と就業規則の整備でした。

経営理念と就業規則

経営理念は「わが社の繁栄と社員の幸せとの調和を図り、地域の発展に寄与し

の新卒採用に対し、ピーク時は400名、現在でも200名程度の学生が面接にやってくると言います。

一次面接は社長自らがし、以降は担当に任せています。「一人前の戦力になるまでには時間がかかります。しかし毎年新卒を採用することで、学生に選ばれる企業になるための風土づくりができています。さらに2〜3年目の社員の成長には見張るものがあります」

マルチタスク制

藤河さんは有給休暇が消化できない理由としてこう指摘します。「業務が属人化していることです。ある業務が特定の人しかできない状態にあるんです。複数の人がその業務をできるようにすれば、交替で休めるようになります」。同社の場合は設計が専門性の高い業務になります。そこは他の部署から配置転換させ、設計もできるようにしています。

そしてベテラン社員の中に往々にして自分の仕事を守ろうとする姿勢があります。これは自分の仕事だから部下に教え

Work Style Reform

いま「働き方改革」が叫ばれています。少子高齢化・人口減少など様々な課題が影響しています。「処遇改善・正規雇用推進」「長時間労働是正」「ダイバーシティ（多様な人財）」「ワーク・ライフ・バランス」などで「働き方改革」を促進する必要があります。同友会では早くから『労使見解』〜人間尊重の経営〜を提唱してきました。その実践は企業における人財確保と定着に密接に関係しています。今回の特集では2カ月にわたって会員企業の事例を紹介致します。

よう。社員が安心して働けて、将来に夢を描ける今日を目指しています。

就業規則でまず取り組んだのは、有給休暇100%消化と完全週休2日制の実施です。30年前に社員を前に宣言したのでした。総務が定期的に朝礼で名前を読み上げて有給消化の徹底を図りました。100%消化には3年を要しました。さらに残業・休日出勤ゼロに取り組みしました。

時間外に顧客がレンタル材の返却に来所しても門を開けません。自社の状況（要望）を伝えることが営業の仕事になります。営業には目標はありますがノルマはありません。目標達成には賞与で反映させています。リスク分散として顧客一社当たりの売上構成を全体の2%以下にするようにしています。

「お客様を大切なお客様を大切のすることと迎合することとは違うことです。これらは自分たちの職場を守ることであります。やり続けることは経営者の本気度が重要です」

ない、それで部下が育たない、休まないという負の循環になります。こうした状況を打破するのはトップダウンで変えていかなければなりません。

労使見解の実践

「少子化は20年も前から言われていたこととです。私は同友会に入ってから30年、同友会で学んだことを徹底して続けているだけです。『労使見解』の実践です。世間が働き方改革と言っていますが、ウチは何も変わっていません」

「会社経営は経済性（利益追求）と人間性（人間尊重）の相反した命題を包括しています。それを調和し統合するのは『経営理念』しかありません。小さいことでも理念に則って続けていくのがトップの本気度です」と藤河さんは語ります。

社内ではサークル委員会があり、活動も盛んで有意義な時間活用になっています。社内行事・スポーツ・広報などの活動を行っています。「お休みの日にはどう過ごしていますか」の質問には「山に登っています」と笑顔で締めていただきました。

POINT !!

- 1 経営理念・就業規則を作り徹底して守る
- 2 マルチタスク制を導入する
- 3 経費削減は収益に繋がり、社員が安心して働ける



藤河 次宏 氏

こうして拓新産業は学生から選ばれる企業になっていきました。年間2〜3名

新卒採用

収益モデル

残業・休日出勤ゼロの実践が職場を守ると同時にコスト削減につながります。さらに光熱費やコピー代など経費節減に取り組んでいます。これらは数値化して社内フィードバックし、更なるモチベーション向上に繋がっています。会議室には自社の財務内容が貼り出しており、わかりやすい言葉で説明されています。「コストダウンは収益アップにつながります。これで社員は安心して働いてくれます」



建設機材を整理する従業員たち



オフィス内の様子



掲示板

いつでもどこでも情報共有

イエノコト株式会社 代表取締役

淀川 洋子 氏（筑紫支部）

文章／菅原 弘（東支部）
写真／旭 晋平（事務局）

Interview 02

会社概要

今回おじゃましたのは、太宰府市のとあるモデルルームです。「大きく分類すればリフォーム会社に属するんでしょうけど、わたしたちは「リフォームありき」ではなく女性目線を大切にしたいと思っています。だからここには看板を掲げていません」と淀川さんは話します。

このモデルルームは平成24（2012）年10月にオープンしました。「新築が減っているからと言って暮らし方が変わっているわけではないと思います。この雰囲気味わってもらいたいと思っています」。気軽に人が集まってくることも目的に、定例で『片付け塾』や親子対象の『お手伝い塾』など、暮らしにまつわる講座を開講しています。空いている時間にはアロマやマッサージ、パンケーキづくりなどの講座をスペース貸しで行っています。スタート時からニュースレターを発行し、現在では6000通をお届けしてい

ドイツの靴文化に魅せられて

社長業は経営指針書作成から



ます。さらに、データベース化して顧客分析に役立てています。

アンケートを実施してみると、困っていることが具体化してきて潜在化していたリフォーム需要が顕在化してきます。「課題を気づかせる近所のおばさん（おねえさん）でいいですね。そしてそれを解決するのが私たちプロ集団です」

リフォームは古民家再生、空家管理、そして街づくりにつながっています。そして最終的には街へファシリテーター（まとめ役）を送り出したいと考えています。

必然的にテレワーク

スタッフは現在5名です。社長、営業、経理、総務、講座統括担当となります。そのうち5人が介護や子育てに直面しています。どうしても女性の力が必要な状況で、全員がオフィスに出勤とはいかず、在宅ワークという戦略が必要となります。そこで淀川さんはインターネットのクラウドサービス（※）を駆使してテレワークで対応することにしました。

淀川さんは受けた仕事について何をいつまでやるかを明確にし、担当が代わっても遂行できる仕組みをつくりました。勤務時間は9時30分から17時を基本とし、土日は休み。出勤時はタイムカードで管理し、在宅での仕事時間は日報の提出などによる「信頼関係」となります。給料計算は社会保険労務士にお願いして



モデルルームにしているオフィス内の様子

仕事の「やり方」

「仕事の『あり方』は、はっきりしてきたので、次は『やり方』でした」。もともと淀川さんは片付けができない性格でした。様々な文献をあさっているうちに、「捨てる！ 技術」という本に出会い共感を覚えました。さっそく東京まで出向き、著者・辰巳渚さんに師事したのでした。さらに、家事セラピストの資格を修得し、「暮らしづくり」を生業とするようになりました。今では「趣味は？」と聞

信頼関係の構築

淀川さんは、もともとナガタ建設（株）の総務部長、さらに戦略室と「三足のわらじ」を履いています。工事台帳を管理しているのも、スタッフ全員がそれぞれの物件の進捗状況の情報を共有しています。数値は淀川さんの得意とするところで、売上・経費・利益に関する意識を高く持つてもらおうとしています。「領収書が来たときは、結果なのでどうしようもないです。計画の段階で相談してもらおうにしています。『どうしたらいいですか？』ではなく『こうしたんですけど』『そのためにはこれが課題です』などのように自主的に考えるようになってきました。任せることと放任は違うんです」と

POINT !!

- 1 インターネットなどのツールを活用してテレワークのスタッフと情報を共有する
- 2 仕事のやるべきこと（何を、いつまで）を明確にする
- 3 スタッフとの信頼を構築する

淀川さんは語ります。

外部からのキャリアアドバイザーを依頼し、第三者から客観的にアドバイスをもらっています。週に一度ミーティングをして実際に会ってコミュニケーションを取ります。

「インターネットのクラウドサービスはあくまでツールです。信頼関係の構築には会うことが大切です」と話す淀川さんでした。



淀川 洋子氏

有限会社クラトミ
代表取締役
くらとみ 英史 氏
ひでふみ

福友支部



マイスター制度などで知られるドイツの靴文化（整形外科靴）を学び、福岡に店を構えます。社員を雇い店舗が増えるにつれ、会社の行くべき道が分からない迷子となりました。そして、同友会の門を叩いたのです。

取材 広報部 弘（東支部）
文章担当 菅原 正弘（玄海支部）
写真 富谷 真

有限会社クラトミ
創業者 昭和13(1938)年
住所 福岡市中央区荒戸1-5-20 シールズ1F
電話番号 092-791-8542
従業員数 正規16名
HP-URL http://kuratomi.info
事業概要 靴を通じて、お客様の健康な生活に貢献する「健康靴専門店」です。

企業のゴールを描いている

2017年10月2日、WHO（世界保健機関）は次のような発表を行いました。

「本日をもって世界で足もとの悩みを持つ人がすべて存在しなくなりました。誰もが健康に歩みを始め、年齢により学業やスポーツ・仕事など、また、プライベートでは足もとのファッションを楽しむ、そして、最後の瞬間まで自分の足で歩く権利を確立させました。」

また、この実現には『有限会社クラトミ』の功績が大きかったと言います。これは有限会社クラトミの経営指針書（第26期）に記載されている100年

後のニュースの記述です。

同社のビジョン『足もとよりの健康な社会の実現』で、明確に企業のゴールを描いています。さらにニュースはこう続いています。

「同社はこの発表を受け、経営ビジョンの達成を理由に『会社解散の手続きに入る』と宣言しました」

晴天の霹靂

（旬）クラトミの代表取締役 倉富英史さんは、昭和43（1968）年に福岡県直方市に生まれます。大学卒業後、自動販売機メーカーに入社し、東京で勤務していました。省力化機器を中心

靴マイスターに衝撃を受けました 「靴を通してお客様の人生の役に立っている」と

としたシステムの提案営業は倉富さんの性格に合っていました。

平成11（1999）年、30歳を目前に家業の後継者として直方に戻ります。同社は昭和13（1938）年に祖父が靴工房として創業し、その後父親が小売りに業態を変えていました。倉富さんは、単に物を仕入れて売るだけの仕事に物足りなさを感じ、将来への不安を覚えていました。

そんなある日、テレビで日本在住のオーストリア人の整形外科靴マイスターのドキュメンタリーを観て大きな衝撃を受けます。番組ではそのマイスターが足もとに悩みのある方の問題を自分の知識と技術を使い解決し、幸せに導いていくというものでした。

「靴を通して、お客様の人生の役に立っている！」

番組後に日本でもマイスターに学べるチャンスがあると知るや、倉富さんはいともたつてもいられなくなり、直方を飛び出しました。主に関東でのセミナーやそのような靴屋さんに足を運んで実際に靴を買いあさります。同業者の研究会があると聞けば入会し、実



様々な資格を取得したり賞を受賞したりしています

際に本場であるドイツにも学びの機会を得て教えを乞いました。

「ドイツの靴文化は学問です」と、倉富さんは店舗の一角に並ぶ本を示してくれました。足のサイズ、角度、足裏にかかる体重の重心などを数値化し、靴を加工・調整していきます。ドイツでは、足の骨が固まる6歳までの時期に3カ月に1回は子供の足を計り、最適な靴を購入します。また足の悩みがある人は、医師の処方箋をもとに整形靴と言われる医療的な靴を制作して問題解決を行います。

そのような靴をつくる側も制度がしっかりしています。下働きから職人、そしてマイスターと段階があります。それぞれに学校があり、学びと実習を重ねなければなりません。マイスターになるには早くても10年はかかります。「そんなドイツのマイスター文化に浸って30代を過ごしてきました」と倉富さんは振り返ります。

福岡に出店

平成20（2008）年、直方市に大型量販店が進出してきました。さらにネットショッピングの波も押し寄せています。「いよいよ生き残れなくなる」と判断した倉富さんは福岡出店を決断し、中央区荒戸に店を構えました。得意だったネットの活用をしていると幸運なことにメディアにも取り上げられました。試行錯誤を繰り返し、何とか軌道に乗り始めてきました。

平成23（2011）年、薬歩堂靴店（本社・群馬、関東を中心に多店舗展開を図る）が博多阪急に本店にあり、倉富さんに「フランチャイズ事業」で店舗運営をしてほしいという話が出てきました。同社代表の澁谷則明さんは、倉富さんと同じくドイツの靴文化に傾倒する経営者です。倉富さんは謹んでそのオファーを受け入れました。

社長って何？

倉富さんは社員を3人雇うことになりました。自分と奥さんとで運営していたときには休みなどは関係なくひたすら働いていました。しかし社員を雇うということは体制を整えなければなりません。経営の数字をしっかりと管理できなければなりません。「社長って何？」、根本から分からなくなってきました。

やって行くのかといういわゆる「迷子の3原則」を学び、理念づくりに取り組みました。

単なる靴の小売りではない、靴はお客様に貢献するための手段であるという思いがだんだん言葉になっていきます。

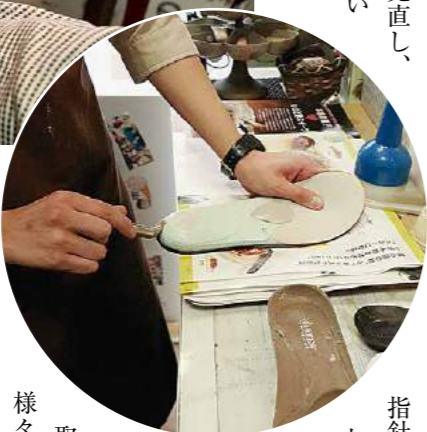
できた理念は「想像を超える靴と技術で、お客様の健康に奉仕し、足もとから世界を元気にします！」ちなみに毎年理念を見直し、現在ではこう進化しています。

「私たちは「足もとよりの健康な社会を目指し、日々、お客様と向き合い、その「生涯歩行への貢献」を自社の歩みとする事を誓います」

フットエイドステーション構想

経営理念ができたところで、方針・計画に落とし込むべく経営

指針作成セミナーに参加しました。



手作業でソールを作ります

様々な機械を導入してデータを計測し、数値化した最適な靴問題解決のための提案ができます。ハード面ではドイツで学んだ技術で靴を最適に加工・調整できます。その両面を備えて接客できるのは自社の強みと確認し、戦略を立てていきます。

靴をフルオーダーで製作すると、価格はかなり安く見積もっても25万円、工期は3カ月はかかると言います。中敷きであれば左右違いの調整も利いてかなりの割合で満足いただけ、価格もお求めやすくなります。

社員の幸せ

倉富さんは常々「教育」と「広報」は社長がやらなさいと聞いています。

靴はお客様に貢献するための手段です。一人ひとりのお客様と向き合うのは社員であり、一番大切にしなければいけないと考えています。

「働きがいがある」と「働きやすい」とはスタンスが違います。社長は社員に対して大きな責任を担っており、そして、「社員に幸せになつてもらいたい」これが切なる思いです。

経営指針発表会では、社員表彰をしています。そこで年間最優秀社員にクратミー賞（本人いわく、業界で一番名誉のある賞）を授与します。副賞と

そこでネットでいろいろと調べてみると、「経営指針書」をつくるのが大切だとわかりました。そしてそれを勉強する同友会の存在を知りました。

直方で同友会員の中川甚広さん（株式会社ベストプラン）の紹介で入会しました。

何のために仕事をするのか

さつそく経営理念をつくるための「あすなる塾」を受講しました。自社はどこにいるのか、どこへ行くのか、どう



実際に足を計測してもらいました

して、その社員の特性を見て、マイスターの元での研修であったり、社内での昇進であったり……。社員のモチベーションを高めることは言うまでもありません。

「靴の学校はありますが、実際に靴作りに携われる就職先が少ないのが現状で、そのなかで学ぶ方の希望とされる会社になりたいですね」と倉富さんは語ります。

全社一丸となって使命に向かう

取材の最後に倉富さんが考える自立型企業についてお伺いしました。「ゴールは「足もとよりの健康な社会の実現」であり、それは果てしなく遠いです。しかし、そのために必要なことは日々の「生涯歩行への貢献」であり、具体的には「フットエイドステーション」構想です」

誰も目指したことのないゴールであり、それに対しての全社一丸での創意工夫の繰り返しこそが「自立型企業」と倉富さんは考えています。

「靴という『もの』を売るのではなく、『快適な足もと』こそがわれわれの商品であり、それを教え導いてくれる『経営指針書』に感謝し、今後も全社で更新を重ねていきます」と笑顔で締められました。

取材協力ありがとうございます。

宇宙から日本を俯瞰する 中小企業に何ができるか？

2017年11月24日・25日の2日間、「中小企業家同友会IT部会全国交流会inつくば」が開催され、福岡からは8名参加しました。



壮大な展示場(きぼう日本実験棟)



福岡メンバーで



宇宙服



最新のLE-7Aエンジン



スペースドーム



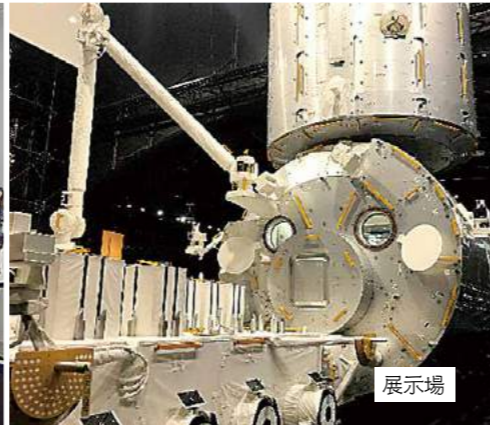
身体機能を補助・改善



福岡メンバーで企画会



世界初のサイボーグ型ロボット



展示場



閉鎖環境適応訓練の解説



JAXA 正門で集合写真

宇宙メガカの解説

全国で繋がる
IT部会を目指して

福岡IT部会・部会長
（株）くらシステム開発
池村 健一（福友支部）

ロボットが当たり前になる
世界がすぐそこに

有田電器情報システム（株）
有田 栄公（飯塚支部）

IT部会全国交流会は、もともと東京同友会と大阪同友会のIT部会の交流の場として始まり、2012年からは、各地IT企業の会員が参加するようになりました。福岡からの参加は2013年に私が1人で参加したのが最初で、今年で5年目になります。今年は福岡同友会IT部会メンバー8名が参加しました。現在は、東京・大阪・福岡・沖縄で順番に開催しています。

2015年には福岡でも開催し、全国のIT部会の方に参加いただきましたので、このまま行くと2019年には、再度福岡のIT部会が担当になる予定です。全国交流会の目的は、全国のIT部会の会員同士で経営について研鑽するだけにとどまらず、それぞれの企業同士が協力し、お互いに仕事でも繋がるような情報交換も積極的に進んでいます。

IT業界では、他業種と同様に人員不足に悩んでいます。他業種に比べ地域を越えた連携がしやすく、同友会理念を共有している企業同士のネットワークは仕事面でも信頼関係を築きやすいと思います。

XAでも起こっていました。

懇親会では、JAXAの仕事をしているIT企業がいて、その企業のおかげでこの見学ができたことを知りました。学ぶ姿勢が強く、全国から筑波まで集まる経営者だけあってとても元気があり、明るく、前向きな同友会会員ばかりでした。

翌日は、ロボット最先端企業であるサイバードデザイン社を見学。体を動かすときに、脳から手足へ指令が送られるときの体に流れる微弱な電流を検知して、ロボットを人間と同じように遠隔操作できる体験には驚きました。今後、危険な場所での作業に活躍できそうとのこと。小さな力で、80キロの重い物を軽々と抱えられる装置は、介護や工事現場で使われているそうです。

これからも、もっともっと進化し、ロボットの世界が身近に当たり前になる時代がすぐそこに来ていることを実感しました。これからの私たち経営者の有効な10年ビジョン策定にあたり、かなりの収穫を得ました。

ITの技術をどう民間へ活かすべきか

（有）アイビジー
大神 与志雄（福友支部）

初日は筑波宇宙センターを訪問し、見学ツアーに参加してきました。見学ツアーでは、JAXAの各活動の

JAXA見学にひかれて全国からたくさんの方が集まりました。写真付き身分証明書の提示がないとJAXAには入れません。手続きが終わって広大な敷地をバスに乗って移動します。

いくつかの施設を回り、最後にはJAXA副理事長の講和がありました。

JAXAの年間予算は1500億円、アメリカNASAの年間予算は20兆円、宇宙に関してはほとんど後れを取っている現状が分かりました。衛星データを用いて、気象、地震変動、CO₂濃度、GPSナビなどに活用ができていますが、このシーズを使って、もっと実用的なものを開発して、市民生活を豊かにしていきたいとのことでした。

農業に活用できるという話はとてもワクワクしました。衛星から細かい画像まで見れるようになっており、収穫時期、田に水が入っているか、イノシシ被害など、山に入ることなく確認できるとのこと、収穫予測などの活用が見込めるとのことでした。

シーズはあるけど活用方法が見つからないという、多くの大学での研究で聞くようなことが、このJA

説明やこれまでの実験の成果の説明などを受け、更に国際宇宙ステーションと繋がるコントロールルームを見学させていただきました。

見学後、JAXA副理事長の遠藤守氏による講演が行われました。現状の宇宙開発において、世界の中で見た時に日本は「官主導」の予算がほとんどを占め、そしてその伸び率も世界と比べ悪いとの説明を受けました。対して世界は宇宙の民間活用が盛んに伸びており、かなりの危機感が伝わりました。

ITとしては失敗できないハードウェアやソフトウェア開発のノウハウをこれから民間へどう活用していくつもりかなどの説明がありました。

次の日は「サイバードデザイン社」を見学しました。サイバードデザイン社は筑波大学の教授が社長を務める上場企業で、主に医療目的のロボット(?)を開発しています。

そのロボットは、脳が発した「関節を曲げる」という命令に対して、皮膚の上を流れる微弱電気をセンサーが感じ取り、その動きを補助する動作をすることで脊髄損傷などにより歩行ができなくなった人を助けるといった働きをしてくれるそうです。

その他にも介護の現場など含め重いものを持ち上げる際に腰の負担を助けてくれるロボットなどを紹介していただきました。

1月の行事案内

15日 18:30~21:00

有明支部
1月例会

人口減少社会を考える

■白柳荘 柳川市新町16 ☎0944-73-1188
■成松 宏氏 柳川市 副市長

1月例会では柳川市副市長 成松氏よりご講演いただきます。人口減少社会という柳川市のみならず社会の大きな課題についてみんなで考えます。



成松 宏氏

あすなろ塾 福岡会場

1月20日(土) 9:15~18:00

■福岡県中小企業振興センター301B会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011

「あすなろ塾」は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加していただきます。 ※ 申込期限:1月17日(水)

人事・労務の基礎知識セミナー

働き方改革

1月23日(火) 18:30~21:00

■GGソーラービル 福岡市中央区天神3丁目4-9 ☎092-714-0451

■大塚 哲也氏 大塚社会保険労務士事務所 社会保険労務士 福博支部人を生かす経営において、社員が意欲を持って仕事に臨み能力を発揮できる仕組みを作ること、また、労働条件の最低基準を少なくとも守ることは大切です。労使関係を常に安定的に保ち、働く人が仕事と生活を調和させながら安心して働くことができるように、啓蒙していくためのセミナーです。

23日 18:30~20:30

国際交流委員会
1月例会

ASEAN地域における投資環境

■エヌビーエス株会議室 福岡市博多区奈久屋町5-10
■今村 芳仁氏 九州経済産業局 投資交流促進課長 他

25日 17:00~21:00

りょうちく支部
1月例会

2018年度行事検討会

■筑後川温泉ふくせんか うきは市浮羽町古川1099-8 ☎0943-77-3131
2017年度を振り返り、次年度の活動の大枠を検討します。

第143回 新会員フォローアップセミナー

1月25日(木) 18:00~21:00

■福岡同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F

第25期役員研修大学 第5講

支部長を経験し、同友会で学びが深まった

1月31日(水) 18:00~21:00

■福岡同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F

■浦田 秀徳氏 ちくし法律事務所 弁護士 筑紫支部同友会において筑紫支部長を経験し、多忙な毎日であったが、そこの学びは大きく、これまで見えなかったことが見え、自分自身を成長させる契機となりました。その体験を報告いただきます。

筑豊
地区

新年祝賀会

会社は経営者の “意識” “意気込み” “志”で 道が拓ける

～衰退産業の波佐見焼を
いかにして復活させたのか?～

波佐見町は人口1万5千人という小さな町で、焼き物と農業が主な産業です。日常食器として戦後から好景氣時に栄えてきた波佐見焼ですが、松尾氏が先代から引き継いだ頃には、会社も地域も衰退の一途をたどる状況にありました。デザインに力を入れてきた白山陶器は、グッドデザイン賞を複数回受賞しており、商品には自信がありました。しかし、



松尾 慶一氏

一生懸命商品開発して販売しても売れません。社長になって3年たった頃には、もうやめたいとまで考えるようになっていました。そんな時、商談で訪れたドイツフランクフルトで世界のマーケットにふれ、今までの考えが一変します。帰国後、考えを改めた松尾氏に道が拓けていきます。企業の再建、そして地域を巻き込み波佐見焼の再建へと繋がっていきます。会社を発展させていく中で、さまざまな経営課題が一社一社にあると思います。新年にあたり、報告を聞くことで一歩踏み出す勇気を持っていただくことを目的とします。

日時 2018年 1月19日(金)
18:00~21:30
基調講演 18:00~19:45
賀詞交歓会 20:00~21:30

会場 のがみプレジデントホテル
飯塚市新立岩12-37
TEL:0948-22-3840

報告者 松尾 慶一氏
白山陶器株式会社 代表取締役
(長崎県中小企業家同友会 代表理事)

参加費 賀詞交歓会 5,000円

県南地区 あすなろ塾 有明会場

2月3日(土) 10:00~17:00

■あめんぼセンター 柳川市一新町3-1 ☎0944-74-4111

「あすなろ塾」は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加していただきます。経営指針作成の第一歩である、「あすなろ塾」を受講し自社の経営理念を見つめなおしましょう。
□参加費(昼食代含む) 会員:2,000円・会員外:3,500円

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。
お申し込み、お問合せは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

福岡
地区

新春講演会

リーダーのあるべき姿

～自衛隊の福島原発事故対応を指揮した経験から～

東日本大震災で、東京電力福島第1原発事故の対応を指揮した陸上自衛隊中央即応集団の元司令官・宮島俊信氏。1号機に次いで3号機の水素爆発等、緊迫した事態が続く中、指揮官としてどのように対応したのか。部下にやる気を出させ、個々の能力等を組織として最高度に発揮させるリーダーという点で、指揮官と経営者とは共通しています。宮島氏の体験から、「日頃からリーダーとしてどうあるべきか」「危機時のリーダーはどうあるべきか」について語っていただきます。



宮島 俊信氏

日時 2018年 1月18日(木) 18:30~21:00

会場 都久志会館ホール TEL:092-741-3335
福岡市中央区天神4丁目8-10

報告者 宮島 俊信氏
三井住友海上火災保険株式会社 公務部顧問
(元 陸上自衛隊中央即応集団司令官)

参加費 無料

久留米
支部

新春講演会

地域の新たな 経済循環をつくる

地域の新たな経済循環をつくるため、やめエネルギー(株)を立ち上げ地域活性化の担い手として貢献されている久留米支部会員の中島さん、金融機関としてみやまスマートエネルギー(株)の立ち上げに関わってこられた松田さん、くるめエネルギー(株)を設立、開業へ向けて奮闘中の安丸さん。それぞれの立場や取り組みからの地域活性化に対する思いの報告です。



中島 一嘉氏

日時 2018年 1月19日(金) 18:30~21:30

会場 萃香園ホテル 2階 松林の間
久留米市榎原町87 TEL:0942-35-5351

報告者 中島 一嘉氏 株式会社アズマ
代表取締役 (久留米支部)

松田 裕次氏 筑邦銀行
上席執行役員/ソリューション事業部長

安丸 真一氏 くるめエネルギー株式会社
代表取締役

北九州
地区

新年祝賀会

同友会の門をくぐったから 今がある

～40億の負債に負けなかった男の経営哲学～

大手企業でバラ色のサラリーマン生活を謳歌していたにもかかわらず、父親の急死により36歳で突然倒産寸前の家業と40億円の借金を引き継ぐことに。死んでしまいたくなるような苦境の中、「朝の来ない夜はない」の信念のもと、完済には80年かかると言われていた借金を16年でほぼ完済。困難を乗り越え、もがき苦しんだ先に見つけた自社の進化とは?人は途方もない絶望に直面した時、そこから這い上がるためにどう行動するのか?経営者・リーダーに求められる決断力とは何か?



湯澤 剛氏

会社再建の経験から、地域密着型の居酒屋経営の中小企業経営者として地獄のような苦しみを乗り越えたことで見えてきた自分の足で立つ充実感、仲間と共に成長していく幸せ、地域に貢献する喜び、人生や家族への感謝について、中小企業家同友会に入会してどのように活かしているのかをお話していただきます。

日時 2018年 1月19日(金)
18:00~21:30 記念講演会:18:10~19:50
賀詞交歓会:20:00~21:30

会場 ステーションホテル小倉
北九州市小倉北区浅野1丁目1-1
TEL:093-541-7111

報告者 湯澤 剛氏 株式会社湯佐和 代表取締役
(神奈川同友会)

参加費 賀詞交歓会:7,000円

大牟田
支部

新春祝賀会

今後の同友会活動の構築、また懇親を深めることを目的に新春祝賀会を開催します。

日時 2018年 1月23日(火)
19:00~21:00(受付18:30)

会場 グランドホテル清風荘
大牟田市原山2-4
TEL:0944-56-1212

参加費 懇親会参加費:5,000円

※ ゲスト、社員さん、家族(子供不可)参加可

※ 申込締切1月18日(木)
直前や連絡なしでの懇親会キャンセルは、キャンセル料をいただくことがあります

2017年度 第7回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2017年11月22日(水) 14時30分～17時36分
会場 福岡県中小企業振興センター 301号会議室

出席 46名(出席率71.9%)
議長 納富 輝子(副代表理事)

協議・審議事項

1. 継続事項

福岡地区会長より第56回定期総会の会場変更について提案があった。国際会議場で総会を開催後、サンパレスにて懇親交流会を開催する案が提案された。審議の結果、承認された。

2. 2017年度前半期のまとめと後半期の課題

各理事より提出があった前半期総括をもとに報告があった。

理事会報告全文

e.doyuの文書管理(理事会報告-2017年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

報告事項

1. 会員企業の動きなど

経営革新計画承認企業 2017年10月
(県31件/うち同友会会員・企業3件)

- 一級建築士事務所のデザイン 渡邊 美恵 氏(福友支部)
(テーマ) 小規模医療福祉施設向けの付加価値を高める「木の癒やし空間」
- (有)楽天地 水谷 崇 氏(福博支部)
(テーマ) 老舗もつ鍋専門店が作るお土産もつ鍋セットの商品化
- (有)若竹屋酒造場 林田 浩暢 氏(りょうちく支部)
(テーマ) 地場産富有柿を原料とした「柿甘酒」の開発及び生産ラインの強化
※累計で福岡県全体では5,520件、会員企業は延べ412件

表彰

平成29年度秋の叙勲 藍綬褒章 更生保護功績
副島 勲 氏(樹オレンジライフ 南支部)

第25期 役員研修大学

第5講の案内

2017年度は全6講座として、第25期役員研修大学を開講します。
役員研修大学では、会社を維持し発展させるために、自らの資質を高め、どう経営環境を変えていくのか。そのために同友会の歴史及び理念と実践を学ぶ場となります。

第5講

支部長を経験し、同友会で学びが深まった

2018年

日時

1月31日(水)

18:00～21:00

会場

同友会全体会議室



報告者 浦田 秀徳 氏
ちくし法律事務所 弁護士
(筑紫支部所属)

同友会において筑紫支部長を経験し、多忙な毎日であったが、そこでの学びは大きく、これまで見えなかったことが見え、自分自身を成長させる契機となりました。その体験を報告いただきます。

Nice to meet you

ようこそ同友会へ



ほんりゅう
弁護士法人奔流
訴訟行為、その他法律実務に関連する業務
弁護士・本部オフィス所長
いけなが まゆみ
池永 真由美
(福友支部)

弁護士の前田牧さんよりご紹介いただき、同友会へ入会させていただきました。普段、依頼者の皆様からご相談いただき、法律業務を行っておりますが、同友会に入会して、多くの経営者の皆様と交流し、経営についてのご指導を賜りたいと存じます。今後ともよろしくお願いたします。

福岡市東区馬出2-1-22 福岡五十歳ビル2階
TEL:092-642-8525



株式会社sponge
展覧会・アートイベントの企画、美術作品の販売、デザインワークのプロデュース、ギャラリーの運営・企画
取締役/ディレクター
さいとう かずき
齋藤 一樹
(福友支部)

現在は中央区赤坂「WHITE SPACE ONE」で現代美術のギャラリーを運営。その他、まちづくりや建物のブランディングのため、佐賀県武雄市や東区大岳の既存施設や空き店舗でアーティストが滞在して展覧会を行うアートイベントも実施。今後もアーティストやクリエイターと一緒に、あっ!と驚くようなシーン作りに携わっていきたく考えています。

福岡市西区愛宕1-16-25-401
TEL:090-6178-9180



たいきち
株式会社泰吉
博多うどん処 泰吉
代表取締役
なかがわ さなえ
(福友支部)

博多区美野島で、月に1~2回の子ども食堂を運営しながら、博多うどん居酒屋を営んでおります。ランチから夜まで営業しております。同友会に入会させていただいて、たくさんのことを学び、社会貢献により繋がっていきたく思います。どうぞよろしくお願いたします。

福岡市博多区美野島3-5-20
TEL:092-415-8050



有限会社
エムケイブレイン
事業計画作成支援、商店街活性化、公的施策活用支援、IT導入
後継者
まきもと のりゆき
榎本 典之
(南支部)

当社は経営コンサルティング事務所として平成3年の現代表(榎本健次)による創業以来、福岡を中心に九州全域を対象として、中小企業や個人事業主、その他法人(社会福祉法人等)の経営のご相談をはじめ、商店街活性化やまちづくりへの参画、経営塾や研修会の開催、調査事業の受託を行っております。多すぎる情報、変化の激しい環境の中で新たな方向性を見出すための「経営の羅針盤」としてお役に立ちたいと思います。

福岡市博多区博多駅東1-12-8 加月ビル8F-A3
TEL:092-482-3616



株式会社オーラット
医師、薬剤師等医療機関で働いている方々の転職をサポート
代表取締役
まだ たろう
町田 太郎
(福友支部)

医師、薬剤師等医療機関に携わる方々の転職を小手だからこそできる密な連絡を取り合いながら親身になって転職活動を細かくサポートしております。クライアントの5年後の幸せを描いて邁進しております。

福岡市中央区小笹2-7-27
TEL:092-406-2978



北九州支部異業種連携ブロックでは、「異業種連携・情報掲示板」(仮称)の発行を検討しています

異業種連携ブロックでは、今までのブロック例会で行ってきた、会員のプレゼンテーションによるコンソーシアム型連携(協同で新しい商品やサービスを創造しビジネス化する~)に加えて、新たに戦略型提携型の連携を検討しています。(右図参照)

自社の経営戦略や商品・製品に応用できるような技術、自社の弱みの補強や課題解決につながる技術・ノウハウを求めている会社や、逆に自社の強み(商品・製品や技術・ノウハウ)の売り込みや採用の提案先を探している会社の情報提供の場を目指しています。



オープンイノベーション(OI)のパターン

オープンイノベーション

- 1 自由参加型のコンソーシアム型
- 2 戦略型提携型

- 2-A 技術探索型(インバウンド型)
- 2-B 技術探索型(アウトバウンド型)

コンソーシアム型

異なる知見を持ち寄り、新しい技術を創造。利益は参加者で享受
▶SIMドライブの電気自動車
※行政が仕掛けていることも多い

インバウンド型

外部の技術を探し出して自社の製品に応用する
▶アップルのiPod ▶フィリップスのノンフライヤー
※どちらかという大手企業やこれから新規製品を開発する企業向け

アウトバウンド型

•保有する技術の売り込み
•技術募集に対する提案
▶アップルのiPod ▶フィリップスのノンフライヤー
※既存製品の販路拡大や協業先の探索

経済産業省「オープン・イノベーションの教科書」より

月刊同友への投稿やe.doyuの全国掲示板機能を使った情報提供などを使って、アイデアや業務提携、自社技術の紹介などあらゆる情報提供や事業提案などを想定しています。

具体的な動きや成果はこれからになりますが、まずは掲示板の浸透とイメージ作りから取り組んでいきたいと思ひます。(左図参照)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター
〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索